

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成28年度第2回総合教育研究所運営委員会
- 2 開催日時 平成29年2月21日（火） 午前9時30分から
午前11時15分まで
- 3 開催場所 水戸市総合教育研究所 研究室5・6
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 上田 壽行, 田邊 一男, 岡部 佐知子, 鈴木 義雄,
荘司 光枝, 佐藤 誠二, 梅原 勤, 小川 哲哉
 - (2) 執行機関 小野 司寿男, 小川 佐栄子, 橋 義孝, 古橋 賢治,
春原 孝政, 黒須 雅継
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 平成29年度総合教育研究所運営方針について（公開）
 - (2) 平成29年度事業計画及び平成28年度事業実施状況について（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
平成28年度第2回水戸市総合教育研究所運営委員会
- 9 発言の内容

執行機関 ただ今から、平成28年度第2回水戸市総合教育研究所運営委員会を開催いたします。まず、始めに____委員長より御挨拶をお願いいたします。

委員長 （挨拶）

執行機関 次に、当運営委員会の出席状況ですが、10名の委員のうち8名の委員が出席しております。水戸市総合教育研究所条例第8条第2項に規定する定足数、2分の1以上に達しておりますので、本

会議は成立となることを御報告いたします。

それでは、議事に入りますが、水戸市総合教育研究所条例第8条第1項で「委員長は、会議の議長となる。」と規定されておりますので、議事の進行について、____委員長よろしくお願いいたします。

委員長 それでは、議長を務めさせていただきます。

議事に入る前に、前回____委員が欠席されたこともありますので、順番に自己紹介をお願いしたいと思います。

委員 (名簿順に自己紹介)

委員長 それでは、次第に基づきまして議事を進めます。始めに「平成29年度運営方針について」事務局から説明をお願いします。

執行機関 (平成29年度総合教育研究所運営方針について資料に基づき説明)

委員長 委員の皆様方からの御質問、御意見等につきましては、担当から詳しく聞いた後のほうがよいと思いますので、「平成28年度事業計画について」説明をお願いします。

執行機関 (平成28年度事業計画 水戸スタイルの教育に関する事業のうち、小中一貫教育「まごころプラン」について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 水戸スタイルの教育に関する事業のうち、学力向上推進事業「さきがけプラン」について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 水戸スタイルの教育に関する事業のうち、いじめ解決推進事業「ふれあいプラン」について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 研究・研修に関する事業について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 指導・助言に関する事業のうち、学校訪問について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 指導・助言に関する事業のうち、生徒指導の充実、事業計画 支援相談に関する事業について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 教育課題に関する事業のうち、情報教育及び広報活動の推進について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 教育課題に関する事業のうち、情報プラザ等での展示事業及び日本語指導の実施、主権者教育の推進について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 教育課題に関する事業のうち、移動天文車活用事業について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 放課後児童対策に関する事業について資料に基づき説明)

執行機関 (事業計画 青少年相談に関する事業について資料に基づき説明)

委員長 委員の皆様から、御質問、御意見ございましたらお願いいたします。

____委員 説明というか詳解を頂いたわけですが、総合教育研究所の運営

委員会ということで、運営の観点からすると気になったのですが、2ページからの主要施策について、それぞれの担当係を教えてくださいませんか。

執行機関 (それぞれの係から回答)

____委員 業務に偏りがあるのではないのでしょうか。多くの部分を学校教育指導係が受け持っています。係の人数は倍程度いますが、バランスの悪さは、運営の在り方の問題ではないのでしょうか。

また、主要施策が多すぎることで、水戸市として何を指すのか分からなくなっています。こんなにベクトルがばらばらでは、研究所の職員はむやみに仕事をする事になり、体を壊さずに運営できるのででしょうか。

昔から総研はあったほうがよいのか、なかったほうがよいのかという議論がありました。施策を組んでくれ、研究研修の助言をしてくれるので有り難いのですが、注文が多すぎて、学校が主体的になれないという問題もあります。水戸市の校長に初めてなった際、前任の校長からの研究テーマの引継ぎで、近く指定校になるので、それを研究のテーマにすればよいのではないかといわれるほど、主体性が欠けてしまいます。

総研の主要施策としては、事業としてある水戸スタイルの教育にあるのではないのでしょうか。普通は銘打ちませんので、水戸スタイルと打つのであれば、それなりの体系がなくてはなりません。ところが、各学校は何をやっているかと____小学校の学校要覧を見ると、確かな学び「知育」、豊かな心「徳育」、健やかな体「体育」の3つを柱にしています。水戸スタイルに見合うだけの施策体系がなされないまま、思いつくまま人権教育であるとか、主権者教育であるとか入れ込んで、受け止める側はどうすればよいのでしょうか。

茨城教育というスタイルでは、少人数教育のため、加配教員を配置しました。つくばスタイルに対抗しようとしたのでしょうかけれども、言葉遊びでベクトルが合致しないと、生涯学習も社会教育も含めた教育施策大綱から、総研が何をやるのかをまた拾い出さなければなりません。総研の役割について、ランダムに並べ立てた体系は、学校からすると迷惑ではないのでしょうか。

水戸市は特色としていろいろな事業を実施するため、例えば国際理解教育を実施するための時間を確保するために、夏休みや冬休みを短くしました。新しい教育を入れ込むためには、器をどうするのかが問題になったからです。指導要領にある知・徳・体はやらなければならないため、新しいものを入れ込んだ教育を、精選しながら、限られた時間の中でどのようにやっていくのか、カリキュラムの編

成のやり方等に総研の役割があるのではないのでしょうか。そういったことが中心となるべきであって、総研の前身である教育研究所では、学習指導なり、生徒指導なり、課題ごとに毎年何冊もの研究紀要が作成されていました。

例えば主権者教育を新たに取り入れましたということですが、指定校に研究してもらい、それを広げていくということであれば、これは研究活動、総研の役割ではないのでしょうか。研究と研修が何なのかというところを明確にしていかないと、課題を紙に並べるのは簡単ですが、実施する学校も限られた人数ですので、覚えきれないほどの校務分掌を持つことになるという現状からすると、運営の在り方としてこれでよいのでしょうか。施策内容については皆さんが一生懸命考えたものですからよいのですが、施策の展開のためには精選された、体系化された、本末軽重が見える形にしないといけないと思います。おそらく体系化すべく水戸スタイルの教育としたのだと思いますので、まごころプランとか事業から始めたほうが分かりやすいのではないのでしょうか。

____委員 委員会が年に2回ということからすると、事業がどこまで達成されたかということについては、何らかの評価がされているということでしょうか。

執行機関 事業評価ということについては、教育委員会全体の事業内容について、別の場面で評価されております。

____委員 全体的にある程度達成されているのですか。

執行機関 達成されているもの、課題途中にあるもの、様々です。

____委員 達成状況がパーセンテージとしてどのくらいかというシステムでないのであれば、どの程度までやっているという部分の問題は生じるかもしれません。

組織の問題として根本的な議論がありましたが、変えるのか変えないのか、今日はあまり時間がありませんが、その辺りをはっきりさせておかないと、それが良いことなのかどうか、例年のものが踏襲されている印象があります。

それぞれの施策について、達成はされていなくても、ある程度の目標値はクリアされているのか、各学校に負担はかかっているのか、達成度について厳密にやっていると、相当大変な量になることは間違いのないと思います。

____委員 茨城県の教育プランについて、学校教育の柱は5本しかありません。どれが中心でどれが末梢なのかを体系化しています。総研の主要施策は道徳教育、情操教育、人権教育と特出しされていますが、何々教育というのは今では150くらいありますので、何か

が抜けていると指摘があるたび，新たな項目を加えていくという対応でいいのか疑問です。

____委員

学校の立場からすると，事業が全てここに凝縮されているのは，これだけ配慮してもらい，サポートしてもらっていることが分かりますし，知らなかったこともあります，データとして大事だと思います。

学校で有り難いと思っているのは，学校がやりたいと思ったことをサポートしてくれる総研のシステムがすごく優れていることです。こういう子どもをつくりたいとテーマを掲げ，全ての教科で要請訪問を依頼したところ，複数の指導主事が来てくれ，それぞれの持ち味，魅力等によって，学校の職員が感化され，校内の研修体制が固まっていきました。学校の主体性を大事にしながら指導してもらえたのが有り難かったです。

今，市内の学校にはいろいろなことをやっていただいているのですが，どこをメインにするかはそれぞれ学校で決めていて，申し訳ないですが，総研の体系とリンクしているかどうかという意味では，ちょっともったいないと思います。例えば，英会話教育は水戸では昔からやっていて，すごい目玉だと思いますが，PRをしていないので，見せ方という部分と，学校が主体性を持てる支援の仕方，それをどうフォーカスして，各学校の力をまとめていくのか，それが____委員のおっしゃる体系化だったり，連帯感につながっていくと思います。有り難いけれども，正直，学校の先生方が全て理解していると思えませんので，実際にやっていることを，上手に運営の中で繰り返していく，そういう視点で見るといいのかと率直に感じました。

____委員

あったほうがいいのか，なかったほうがいいのかといえば，あったほうがよく，有り難かったです。有り難いということは，誰もがそう思えるようにしたらよいのではないかということです。

かつて県にいたとき，知事部局から学校での環境教育の実施を依頼され，環境教育という授業が学校にあると思われていました。学校は今でも算数，国語，理科，社会，音楽，体育，道徳と，朝から時間割の中で授業が行われていると説明したのは最近の話です。

学校は教育課程をバランス良く，効率良く実施するところです。そこを忘れて行政はいろいろな施策を展開しますので，学校とどう結びつけるのかという歯止めは総研の役割です。今日的な言葉に飛びつかず，教育課程の編成の在り方の研究といったことのほうがよっぽど大事です。

平成8年に始まった生きる力の教育，ある意味ゆとり教育が頓挫

しました。授業内容の精選を図って、上限を決め、主体的な学習ということで総合的な学習や選択教科等を入れ込んで、それが非難を浴びました。総研のような組織が役割としてリードしていかない限り、自主的、主体的な子どもたちを育てるという提案は、また頓挫してしまうのではないのでしょうか。

昔から、主体的、自主的といわれてきましたが、言葉だけでできるものではありません。総研が本腰を入れて取り組むのか、他からの要請で際限なく施策を増やしていくのか、その姿勢は総研の在り方としての根本問題なのではないかと思います。

____委員

行政的なものとして、やっていたことをやめるということはなかなか難しいと思います。部署があって予算があり、それで動いていますので、いきなり全部変えるというわけにはいかないと思いますが、次の学習指導要領は相当変わります。事業にダイナミックさがなく、これまでの踏襲という感じがします。例えば6ページの芸術鑑賞についても、本物を観ることは良いことですが、アクティブ・ラーニングの時代は、むしろ子どもたちが演劇を作って、そのためにはどのような協同性が必要なのかということのほうが重要になってきています。観るよりもやったほうが、演技や演出も必要だし、舞台も作らなければなりません。学習指導要領ではそちらが求められますので、情報の収集や受け身ではなく、能動的というアクティブ・ラーニングの観点からすると、そういう部分の改革がどうなるのかということがあります。

I C Tについても、大学でも導入をしましたが、本来はI C Tありきではなく、授業の中身をI C Tにどうリンクさせるかということが重要であって、コンテンツが重要なわけです。何のためにI C Tを使うかというよりも、I C Tの使い方を覚えるために研修をやっていて、結局授業の時には面倒で使わないということが多いです。タブレットP Cも同様で、ネットで確認したことから何かを作っていくことが重要です。

そういったことが新しい学習指導要領では求められると思いますので、新しいタイプの教育には果敢に取り組んでいます。どう動的に動かしていくかということを含めたところで、引き継ぐだけでなく、大胆に切れるところは切ったり、焦点化して枠組みを決めていくといった、減らす方向、精選していく方向に今後考えていくのがよいと思います。そのために運営委員会、委員も施策の改善に向けてどのような形で関わっていくのか、今年から考えていかないと、また来年同じ状態になります。学習指導要領が変わりますので必ず増えることになると思いますので、事前にシステム的に変える

工夫を考えていただきたいと思います。

____委員 事業については、議会に提出されているわけですから動かないと思いますが、まずは体系化する作業から始めてはどうでしょうか。幹、枝にいろいろ貼り付けて、どの事業がどこにつながっている、地下はどうなっている、これを育てるためにこの事業があるといったことが理解されれば、やる気につながります。ばらばらのままでは負担感になりますので、____委員が言われたとおり、自分が何を育てているかが明確になるよう体系化されれば、私は忙しくても何とか頑張れるのではないかと思います。狙いどころであるとか、実施段階で工夫できることは工夫することはできると思いますが、まずは体系化の作業が先ではないでしょうか。どれも大事なことなので、私も要らないと思うものはないのですが、このまま持ってこられても、学校も総研も大変ではないかと思えます。

____委員 娘が水戸市の公立学校でお世話になっていて、保護者として気になることは、2020年から大学入試の英語が4技能になるということです。水戸市では以前から英語特区ということで力を入れていただいているのですが、県立高校の入試結果を見ると二極化が進み、山が下のほうに来ているように思います。高校生になってからは間に合いませんので、4技能を学校でどのように取り入れるのか、英語教育の研究を進めていただけたらと思います。

自分の団体でN T TのC S Rを利用し、プログラミングワークショップを何度も開催していますが、I C Tを各教科に活用するという意味では古河市等がかなり先行しています。水戸市の研究はまだまだの部分がありますので、ぜひ早めに進めていただければと思います。

____委員 茨城県の教育プランの中で、就学前教育と家庭教育が強調されています。幼稚園は義務教育ではありませんが、学びと育ちの連続性を視野に入れながら、小学校への接続に向けて取り組んでいます。接続に向けてのプロジェクト、小学校低学年、幼稚園、保育所の先生でアプローチ・スタートカリキュラムを作成した経緯等からも、幼稚園教育も今後の運営方針に位置付けていただきたいと思います。平成28年度の水戸市の学校教育指導方針の中で、幼稚園の先生も学校教育に向かっていて、学校と一緒に生きるための力を作っていく基礎となる場所ですので、今は少しずつ公立保育所の先生も研修等に参加するようになってきていますが、幼・保・小連携とあっても保育所と幼稚園の先生の間での教育の違いがあるよりは、運営方針の中に幼稚園教育ということを打ち

出していただけると、幼稚園の先生方もより意識して取り組むのではないかと思います。

____委員 前々から携わっている方のいろいろな意見を聞き、そのとおりに思うことがたくさんありました。

____委員 学校の先生方が全てを理解して進めているわけではないと思います。重点事項が大事なことは分かりますが、学校は学校で知・徳・体があり、重点事項があります。それを総研の事業とどうリンクさせて一緒にやっていくかを考えていると思います。

学校は総研を頼りにしていますので、授業研究にしても、生徒指導にしても、一緒にやっていくという形では助言をもらったり、常に相談に乗ってもらえる存在です。学校だけではできないことを、水戸市として総研として企画してもらえることで、広がることが多くあります。特に、今回、道德の研究主任を集めて研修をするということは、学校だけではできませんので、人を育てるという面でも企画してもらえるのは有り難いと思います。

委員長 課題、要望多々あったと思いますが、ぜひ平成 29 年度の運営委員会に向けて検討していただき、意義のある運営委員会にしていきたいと思います。それでは、以上をもちまして議事を終了いたします。それでは、事務局に進行をお返しします。

執行機関 ありがとうございます。それでは、最後に総合教育研究所所長の____から御挨拶を申し上げます。

執行機関 (挨拶)

執行機関 以上をもちまして、平成 28 年度第 2 回水戸市総合教育研究所運営委員会を終了いたします。本日は御多用のところ御出席いただき、誠にありがとうございました。